

(プロジェクトマネジメント実践講座)

見て触れて理解が進む

WBSを核にした プロジェクトの成果管理

主 催：(一財)エンジニアリング協会

期 間：平成25年 2月21日(木)～ 2月22日(金)

会 場：当協会 D/E 会議室

(神谷町マリビル10階)

当講習会の特長

- * 経験豊富なコンサルタントによる演習重視の実践的プログラム
- * 成果管理の核心を捉え、具体的且つビジュアルで判り易いと好評
- * PMP® & CAPM®受験用としてポイント付与対象
- * PMS資格継続ポイント付与対象



一般財団法人 エンジニアリング協会

開講の目的

プラント建設、土木工事等のプロジェクトの成否は、プロジェクト管理の良否に大きく依存しています。プロジェクト管理の手法には様々なものがありますが、米国で開発されたPMBOK® (Project Management Body of Knowledge) が世界中で最もよく利用されています。この手法は、複数のプロジェクト管理要素が相互に関わり合って効果を発揮するものですが、実務に適用するには、かなりの熟練と知識を必要とします。

本講座は、PMBOK®におけるプロジェクト管理の骨格であるWBS (Work Breakdown Structure) を正しくかつ実務に適した内容で理解すること、またPMBOK®で示される9つの知識エリア(スコープ、時間、コスト、品質、人的資源、コミュニケーション、リスク、調達、統合管理)のうち、プロジェクト管理により関わりが深い他の管理要素(スケジュール、コスト、管理組織、コミュニケーション、統合管理)とWBSとの統合の方法を理解し、これを実務で活用するための知識やノウハウを取得することを目的としています。

特にご参加いただきたい方

- ・数年以上のプロジェクトの実務経験を有し、プロジェクトマネジャー又はプロジェクト管理要員を目指す方。
 - ・プロジェクト管理の手法は実務を通して一通り理解しているが、WBSとスケジュール、管理組織、資源動員管理、出来高管理等の相互関係・統合方法が今一つすっきり理解できない方。
 - ・プロジェクト管理の手法についてPMBOK®等を通じて一通りの知識を有しているが、これを実務に適用するための実践的なノウハウを会得したい方。
- ※本講座の参加者はPMBOK®に示すプロジェクト管理に必要な知識エリアに付き、入門レベル相当の理解をしていることが前提です。

講座の特徴

本講座では、PMBOK®で示されるプロジェクト管理に必要な9つの知識エリアのうち、プロジェクト管理により関連が深い知識エリア、即ち、スコープ(特にWBS)、時間(特にスケジュール)、コスト・調達(特に遂行資源)、人的資源(特に管理組織)、コミュニケーション(特に成果測定/評価)及び統合管理(各管理要素を統合したプロジェクト管理)に的を絞り、これらが相互に関連し合って統合管理として融合され、プロジェクト管理にどのような効果を発揮するかを、演習を交えて平易に解説します。受講者は、本講座で得た知識を職場に持ち帰り、担当するプロジェクトのパフォーマンス向上に貢献することができます。

また本講座は、プロジェクト経験が浅い受講者にも理解し易いように、“見て触れて理解が進む”をキーワードにして演習(キットを使用した統合管理手法の立体模型の組立て、プラント建設等の仮想プロジェクト管理)を多く取り入れた構成にしています。

※講座の解説で想定するプロジェクトの規模はプロジェクトメンバーが数十名以上のものを想定しています。

講座の進め方

本講座は、数名のグループに分かれ、次の要領でテキスト学習、机上演習、演習成果の発表・評価、グループ間の情報交換、講師との質疑応答を随時取り入れながら進めます。

- ① テキストを用いたプロジェクト管理に関する計画と実践の知識習得。
 - ② 演習キットを用いた、グループメンバー協働による統合管理の仕組みの立体的組立て。
- 併せてグループ間での意見・情報交換。

本講座は全時間の半分以上を演習に充てます。本講座による研修成果を受講者の実務イメージに繋ぐため、統合管理手法の立体模型の組立てを通して、プロジェクト管理要素の相互関連・統合の仕組みを受講者の脳裏にイメージとして焼き付けるためです。

最後に総合演習で、各グループで仮想プロジェクトを設定してそのプロジェクト管理計画(WBS、スケジュール、役割分担表等で構成)を作成し、仮定の消費実績を用いて出来高管理法を用いた成果分析・評価を行います。これにより本講座で学んだ知識の定着・発展を図ることができます。

講座日程

スケジュールと学ぶポイント		
一 日 目	イントロダクション：講座の進め方の確認、参加者の自己紹介、相互交流	9:30～10:00
	第1章 プロジェクトマネジメント手法の概要	10:00～10:30
	・ 時代を超えたプロジェクトマネジメント手法、その来歴と発展経緯、および機能構成	
	第2章 統合マネジメントの要：WBS	10:30～11:00
	・ いろいろなWBS、その使われ方 ・ WBSを核にしたマネジメント要素統合(Integration)の事例	
	第3章 WBS構造の作り方	11:00～14:00(昼休み1時間を含む)
	・ 作業の分解/集約と構造化、WBS設計のための要件収集 【演習：Activity(作業)のPackage化とBreakdown(Structuring)、WBSの階層設計】	
	第4章 個別マネジメントフレームの相関とWPの内容定義	14:00～15:30
	・ 成果管理のための情報の種類と定義 ・ WP(Work Package)を核にしたパフォーマンスモニターのロジック ・ 統合管理の要“WP” 【演習：WPの内容定義(定義票作成)】	
	第5章 作業の定量監視	15:30～16:30
二 日 目	・ Activityの定量表示 ・ WPを介した管理情報統合の仕組みと情報フロー、多様なWBSの利用活用 【演習：WPの内容定義(続き)】	
	第6章 スケジュール管理計画	16:30～17:30 9:30～11:00
	・ スケジュール作成の要件調査と標準的なスケジュール作成、現実的なCPM(クリティカルパス法)スケジュール作成の要領 ・ WBSとCPMスケジュールの連携(マイルストーン設定他)、資源平準化して時間とWPサイズを総合調整 【演習：作業ネットワーク作成】【演習：スケジュールとWBSの統合】【演習：マイルストーン設定】 【P3デモ：山積・山崩】	
	第7章 作業測定と成果の評価	11:00～12:00
	・ 作業の計測(作業計測のためのActivityの定量化) ・ 成果評価のしくみ(作業成果評価法：出来高勘定法、出来高目標/実績の微調整) 【演習：WPの作業出来高EV計算(CV, SV, CPI, SPI)、出来高管理手法によるWPの成果分析】 【P3デモ：PV(計画作業量)、EV(出来高)、AC(資源消費実績)のSカーブ】	
	第8章 プロジェクトマネジメント組織と役割分担	13:00～14:00
	・ プロジェクトマネジメント機能構成/人的組織、マネジメント情報の流れ ・ プロジェクトマネジメント組織の設計と担当職務の割付 【演習：プロジェクト組織構築：プロジェクトマネジメント機能設計/実行組織設計】	
	第9章 プロジェクトコントロールベースライン、その要にWBS/WP	14:00～14:30
	・ プロジェクトコントロールベースラインの確認 ・ 多様な情報収集様式、自分の意に叶う情報収集方式と成果分析(各種のレポート) 【PM支援ソフトのデモ：プロジェクト進捗レポート様式の事例】	
	第10章 実績把握と状態分析、問題箇所究明、対策検討	14:30～15:00
	・ 多様な実績レポート ・ 成果の分析/問題原因の究明、Catch up プラン、ベースラインの変更 【演習：進捗レポートの見方：状態分析、問題点究明、対策立案】	
	総合演習 総合評価、Q&A	15:00～17:30
	【各グループで仮想プロジェクトを設定し、統合管理システムを構築する】	

講師紹介

城戸 俊二 (有)デム研究所 代表取締役

業務経歴：

昭和37年4月東洋エンジニアリング(株)入社、石油精製プラント、化学プラントなどの設計、建設、およびプロジェクトマネジメント等を担当し、平成10年2月 定年退社。

平成10年4月(有)デム研究所を設立。プロジェクトマネジメント教育、同手法導入コンサルティング、オイルメジャー系国内石油精製会社のタンクヤード改造プロジェクトのプロジェクトコントロールマネジャー等を行い現在に至る。

主要な学研活動：

(現)日本プロジェクトマネジメント協会理事。(元)エンジニアリング協会プロジェクトマネジメント基礎講座(現行：PM実務習得コースL2)講師、同協会でプロジェクトマネジメント関連研究活動多数。

開催要領

日 程 : 平成25年 2月21日(木) ～ 2月22日(金)

時 間 : 2日間とも9:30～17:30
(詳細は講座日程参照)

場 所 : 当協会 10階D/E階会議室 [添付会場案内図参照]
東京都港区虎ノ門3-18-19 (虎ノ門マリビル10階)

参 加 費 : ①賛助会員 1人 39,900円(消費税込み)
②非 会 員 1人 59,850円(消費税込み)
※参加費には資料代を含みます。

定 員 : 24名(先着順に受け付け、定員になり次第、締切らせて頂きます)
お振込みいただいた参加費はご返金できませんので、予めご了承ください。
申し込まれた方が出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

留意事項 : ①研修効果があがるようにカリキュラムが作られておりますので、必ず同一人の方が
2日間継続してご受講ください。

申し込み方法: ENAAホームページのトップページ<http://www.ena.or.jp/>のPMセミナー案内 から
または、
申込ページ <https://www.ena.or.jp/HNB/seminar/pm-spa3.html> から
平成25年2月15日(金) までにお申し込みください。

参加費支払方法: 平成25年2月19日(火) までに次の銀行にお振込みください。

振込銀行 みずほ銀行 本店 普通預金口座1824021

いっぽんざいだんほうじんえんじにありんぐきょうかい

口座名義 「一般財団法人エンジニアリング協会」

[参加申込書送付先および内容についてのお問い合わせ先]

一般財団法人 エンジニアリング協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 (虎ノ門マリビル10階)

TEL (03)5405-7201 (代) 担当者: 産学人材開発部 溝川、永谷

FAX (03)5405-8201 e-mail: seminar06@ena.or.jp

<http://www.ena.or.jp/>

<会場のご案内>

◆一般財団法人 エンジニアリング協会

(〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19, TEL (03) 5405-7201)

セミナー会場：10階 D/E会議室



■交通のご案内

- 東京メトロ 日比谷線『神谷町駅』（3番出口）より徒歩1分
- 都営地下鉄 三田線『御成門駅』より徒歩7分

平成24年1月30日（月）より上記に移転しました。